

1. 建物概要

建物名称	有限会社三永工業小沢渡工場	BEE	0.5	BEEランク	B-	★★
------	---------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	2.4 /5	    	がんばろう 
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.4 /5	    	がんばろう 
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.3 /5	    	がんばろう 
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.2 /5	    	がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上 	ふつう 3 点以上 
			がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)	得点 2.4
■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①～③ 評価対象外。 ④ 給水管:塩ビパイプ鋼管、排水管:硬質塩ビ管、冷媒管:鋼管を使用。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 屋光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 屋光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤ 敷地周辺部に緑地帯を設け、外構緑化指数19%を確保。 ⑥ 敷地内の舗装面積率を26%に抑えている。	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率運用) ⑦ 評価対象外。 ⑧ 特になし。 ⑨ 評価対象外。 ⑩ 特になし。	LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪ 節水型便器を使用。 ⑫ 躯体と仕上材を分別可能とし、再利用できるユニット材(OAフロア)を採用。 ⑬ 発砲材を用いた断熱材を使用しない。	LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 1.2.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.1.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.1.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.1.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.1.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.1.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ 評価対象外。 ⑮ 特になし。	LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)	得点 2.4
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯ 建築基準法に定められた耐震性を有する。 ⑰ 節水型便器を使用。	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)	得点 2.3
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱⑲ 評価対象外。 ⑳ 将来的に間取りを変更できない部分(PS等)を設けないことで空間のゆとりを確保。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 敷地内の舗装面積率を26%に抑えている。	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)	得点 2.2
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤ 敷地周辺部に緑地帯を設け、外構緑化指数19%を確保。 ⑥ 敷地内の舗装面積率を26%に抑えている。	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 2 ㉒ まちなみ景観への配慮 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善) ⑮ 特になし。	LR-3 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善